

# 出張医学教育FD(佐久総合病院)

【日時】 平成26年10月28日 18時30分～ 19時

【場所】 佐久総合病院・佐久医療センター

【参加人数】 46名

【内容】

○卒前クリニカルクラークシップの現状

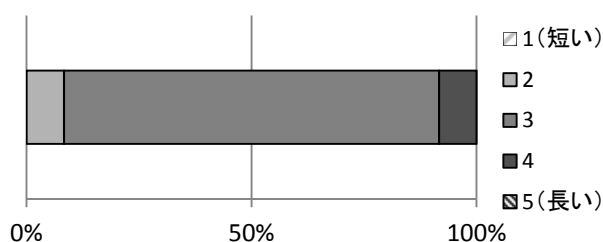
○信州大学における今後の臨床実習

- ・150通りの選択肢からなる参加型臨床実習について
- ・学生が行うことのできる医行為について
- ・臨床実習の指導医

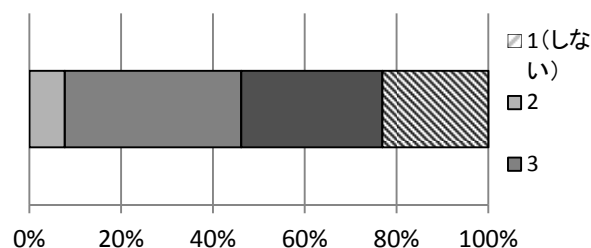
○患者の同意と事故補償



FDの開催時間はいかがでしたか。



FDはニーズにマッチしましたか。



参加者の意見

FDで分かったこと	FDで疑問が残ったこと	ご意見
ある程度、新しいシステムでよく教育された学生が実習に来るとのこと。	当院の夏季春季の休み中に来る学生とどのように違うか、見学ではなく、実習ということでしょうか。	期間によって実習できる内容が変わってくるかもしれませんね。
総合病院の方が大学に比してチームの人数が少ないので、学生三位やってもらえることが多い印象です。	具体的に、大学・学生がどのような実習をくんでいるかがわからない。	後期研修医もローテートで来るので、何を学生にやらせ、何を後期研修医にやらせるのが難しい(ある意味、仕事の取り合い?)があります。
日本の医学教育のレベルが低いこと。	どのようにすればレベルが上がるのか、参加型にすればそれで大丈夫か。	当院では全職員(医師以外も)が、教育的な面を持っており、7学生には医療全体を学ぶ面でも役立つのではないかと思います。
大学の熱意を感じました。	実際にどう変わっていくのか。	実習に来る学生さんですが、研修先のスタッフにはとても礼儀正しい印象を受けるものの、医局にいるその他のドクターに挨拶をしてくれないような気がします。医療センターの医局はタコ部屋ですので、実習科のスタッフ以外にも挨拶をしてもらうと嬉しいです。
教育内容がだいぶ、実医療に近くなってきている。	学生の熱意の有無。	
臨床実習の必要性。佐久病院での実習予定。大学の取り組み。	具体的なスケジュール。指導の際に、クリアしなければならない義務など。	
医学生の実習の目標、内容が変わる。見学主体ではダメ。チームの一員として学生に関わってもらおう。	医行為の具体的な内容。学生カルテの設定がベンダーで全て可能か?カスタマイズで費用が発生するのか?	
学生が診療に参加し、共に治療を考える。		
日本の医学教育はガラバゴス。		
医療事故に対する対応がきちんと行われることが理解できた。		
医学教育の目的・方針が変更されること。		